

---

 學 會
 

---

## 岡山醫學會第369回通常會

同會は豫期の如く本月19日午後4時より岡山醫科大學第1講堂に於て開會す根岸編輯主幹開會を宣し直ちに次の講演に移る。

 1. 「ネオトロピン」内服に因る副作用  
特に其の皮膚黄染現象に就て

岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室

西川規夫君

著者は「ネオトロピン」1日0.5gを毎日泌尿器疾患患者43例に與へしに17例に於て皮膚黄染せるを發見せり。此17例を詳細に檢索せし結果「ネオトロピン」が皮膚を黄染すると云ふよりも寧ろ皮膚の表皮特に角層が「ネオトロピン」排泄の過程に有る時、皮膚が黄色となると云ふを妥當なりと考ふ。勿論汗腺も「ネオトロピン」排泄に與るものなるべし。

## 2. 熊の抱合性膽汁酸に就て

岡山醫科大學生化學教室

宮地重樹君

演者は熊の膽汁を鹽酸酸性にてÄterにて浸出せるに、約2.5%の收量にて新膽汁酸を分離せり。熔點232°Cの柱狀晶にして、水には全く溶けずAlkohol以外の有機溶媒には難溶なり。 $[\alpha]_D^{20} = +51.28^\circ$  Pettenkoffer氏反應は陽性にして、Liebermann氏反應は櫻實紅色なり。

元素分析によればGlyko-desoxy-cholsäure  $C_{26}H_{43}N.H_2O$ とよく一致す。この酸を加水分解すれば、約0.67%の收量にてUrso-desoxychol酸を得たり。

演者は上に得たる抱合性酸を、其の水に溶けざる點、元素分析の結果及び其の他の性質より見てGlyko-Urse-desoxy-chol酸なりとせり。

右終りて午後5時半散會せり當日の出席者は30餘名なり。

## ◎岡山醫學會第370回通常會

同會は本年4月16日午後4時より岡山醫科大學に於て開會す